

平成 27 年度 SPARC Japan の活動計画（案）について

1. 第 4 期の基本方針の確認

「国際連携の下でのオープンアクセスの推進、学術情報流通の促進および情報発信力の強化」に取り組むことを基本方針とする。第 4 期は、大学図書館と研究者の連携を促進するとともに、オープンアクセスの課題を把握し、大学等のとるべき対応について検討し、これに関するプロジェクトを推進する。具体的には次の 3 つの事業を計画する。

- (1) 国際的な OA イニシアティブとの協調
- (2) オープンアクセスの課題への対応と体制整備
- (3) オープンアクセスに関する基礎的情報の把握

2. 平成 27 年度の具体的なプロジェクト

平成 27 年度の活動内容について、プロジェクトを実施するための意見をいただきたい。

(1) SPARC Japan セミナー (1) (2) への対応

アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを 4 回実施する。各回に企画担当者を置き、企画・実施を行う。学術コミュニティ（大学・大学図書館・学会）が世界的に変化の著しいビジネス環境の中で、学術情報流通の変化に適切に対応するためのテーマを選定する。

※委員からの提案をお願いしたい。

回次	日時	テーマ（案）
1	5～6 月	
2	7～8 月	
3	10 月 21～22 日	オープンアクセスサミット 2015（半日をセミナーとする）
4	12～1 月	

(2) 国際的なイニシアティブへの参加支援 (1) (2) への対応

- ・ SCOAP³、arXiv.org、ORCID の日本の連絡調整の役割を継続する。
- ・ 機関リポジトリ推進委員会と協調しつつ、SPARC、COAR 等の国際イニシアティブとの関係を継続する。
- ・ 2015 年 5 月 27・28 日グローバルリサーチカウンシル(GRC)東京での開催にあたっての働きかけ行う。

(3) 海外動向調査 (1) (3) への対応

2015 年に予定されている下記の国際会議に参加し、情報収集を行う。

- ・ Joint SPARC-COAR conference
4 月 14-16 日 Porto, Portugal
- ・ OR2015 (The 10th Annual International Conference on Open Repositories)
6 月 8-11 日 Indianapolis, USA
- ・ ETD 2015 (The 18th International Symposium on Electronic Theses and Dissertations)
11 月 3-6 日 Jawaharlal Nehru University (JNU), New Delhi, India
- ・ Belin2015 Maxplanck Institutes symposium (11 月予定)

(4) オープンアクセス支援のパイロットプロジェクトの推進 (2) (3) への対応

- ・ 欧州原子核研究機構 (CERN)、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 及び国立情報学研究所 (NII) が高エネルギー物理学分野に関する国際連携協定を締結し、CERN が提供する INSPIRE データベースを中心とした高エネルギー物理学分野の文献情報等の分析を行う準備を進めている。SCOAP³によってオープンアクセスとなった雑誌の APC に関する分析等、持続的なオープンアクセス支援に向けた基礎的な調査を実施する。
- ・ 日本の学術情報発信、機関リポジトリ等に係る事項についても、必要に応じて、オープンアクセスを推進するための調査を実施する。

(5) 平成 26 年度 SPARC Japan 年報の発行 (2) への対応

平成 26 年度の活動をまとめ、SPARC Japan 年報を発行する。

(6) 第 4 期終了後の SPARC Japan の活動の検討

- ・ 第 4 期の活動をまとめ、次期にむけた方針について検討をする。